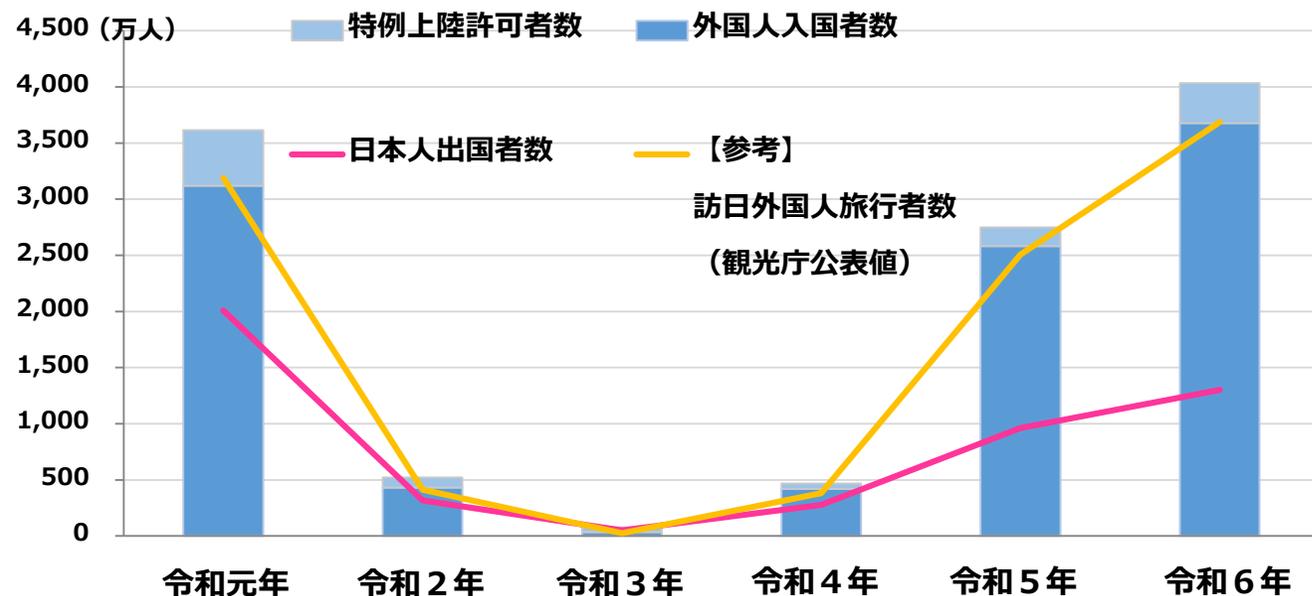


令和6年における出入国在留管理関係統計について (ダイジェスト)

○令和6年における外国人入国者数及び日本人出国者数等について



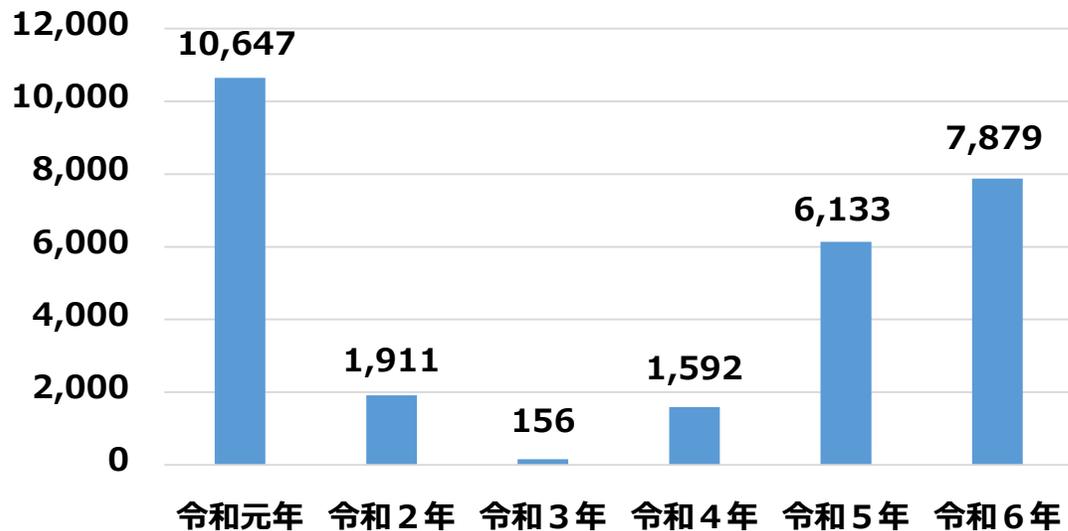
○令和6年における外国人入国者数：3,677万9,964人
 →前年に比べ、**1,094万9,154人増加し、過去最高**

※外国人新規入国者数 (3,401万5,766人) も、前年に比べ、**1,026万4,073人増加し、過去最高**

○令和6年における日本人出国者数：1,300万7,282人
 →前年に比べ、**338万3,124人増加**

○令和6年における外国人の上陸拒否について

外国人の被上陸拒否者数

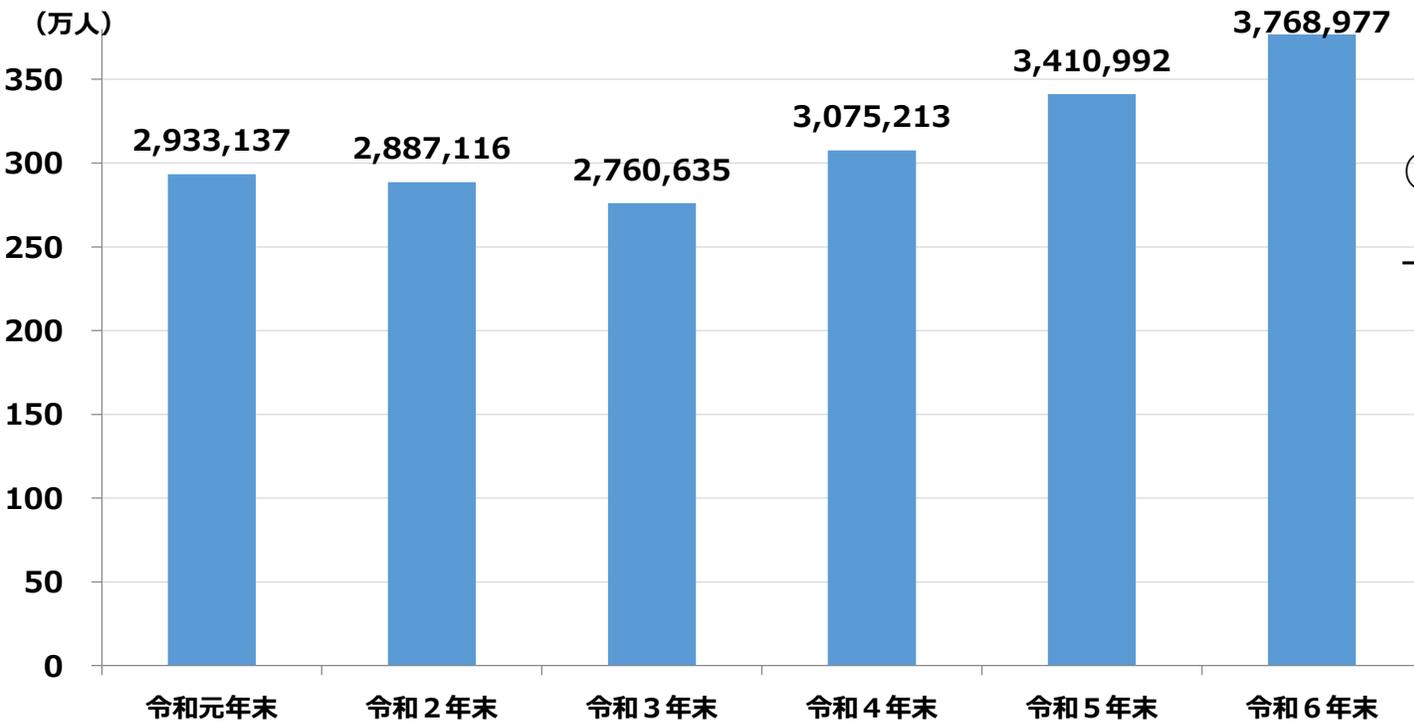


○令和6年の外国人被上陸拒否者数：7,879人

→前年に比べ、**1,746人増加**

○国籍・地域別では、**タイ**が1,415人と最も多く、次いで**中国**が802人、**スリランカ**が686人

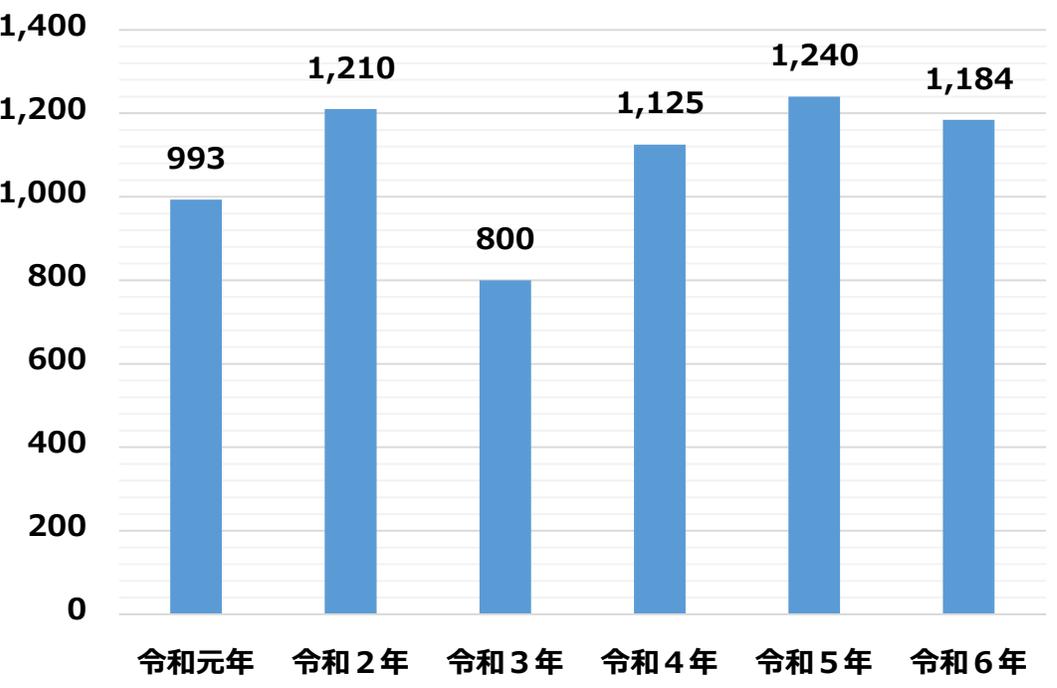
○令和6年末現在における在留外国人数について



○令和6年末現在の在留外国人数：376万8,977人

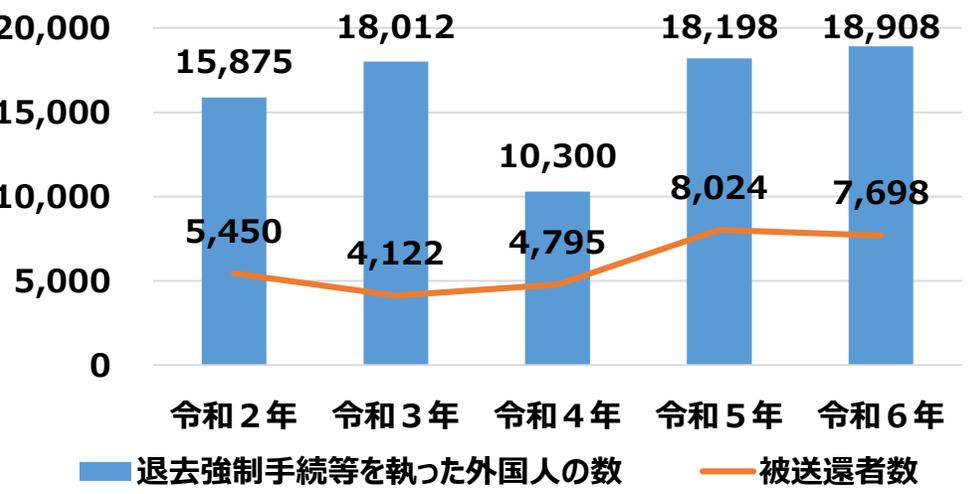
→前年末に比べ、**35万7,985人増加**し、**過去最高**

○令和6年の「在留資格取消件数」について



- 令和6年の在留資格取消件数：**1,184件**
- 在留資格別では、「**技能実習**」が710件と最も多く、次いで「**留学**」が312件、「**技術・人文知識・国際業務**」が69件
- 国籍・地域別では、**ベトナム**が784件と最も多く、次いで**中国**が109件、**ネパール**が60件

○令和6年における入管法違反事件について

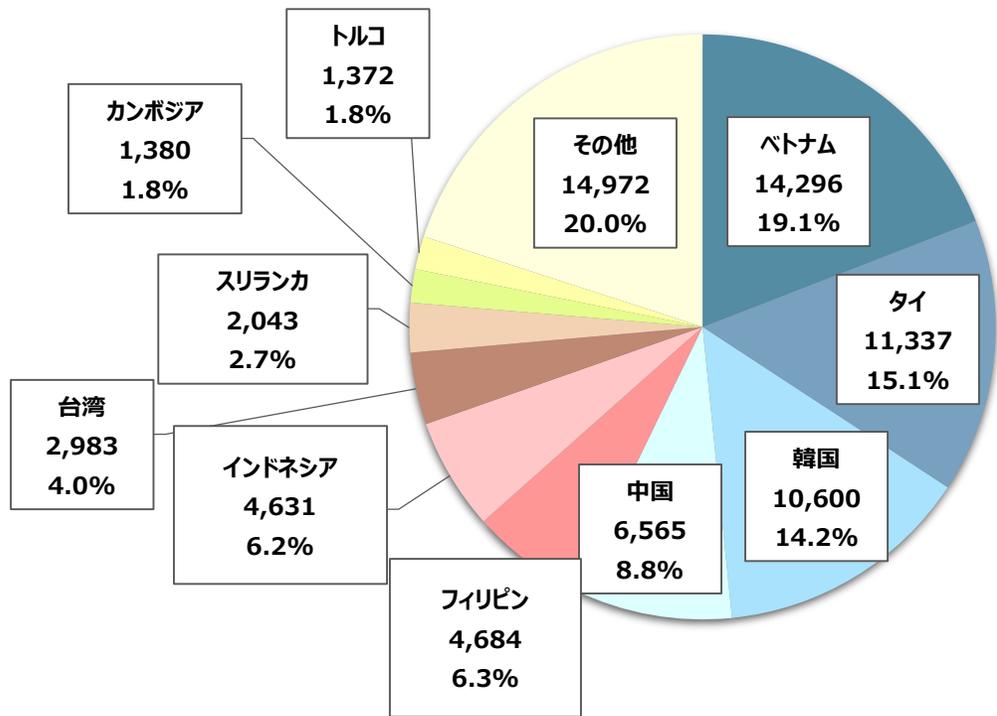


- 退去強制手続等を執った者：**18,908人**(うち出国命令手続を執った者：10,131人)
→国籍・地域別では、ベトナムが6,996人と最も多く、次いで、タイが3,400人、中国が1,929人
→このうち不法就労事実が認められた者は、1万4,453人(全体の76.4%)
- 被送還者数：**7,698人**
 - ・自費出国 6,808人
 - ・国費送還(護送官なし) 581人
 - ・国費送還(護送官あり) 249人
 - ・その他 60人

注1) 退去強制手続等とは、退去強制手続又は出国命令手続である。
注2) 被送還者数については、プレスリリース上、令和4年から令和6年分のみ掲載。

○送還停止効の例外を適用して送還した人数：**19人**
(令和6年6月10日(※)～同年12月末)
※送還停止効の例外の施行日

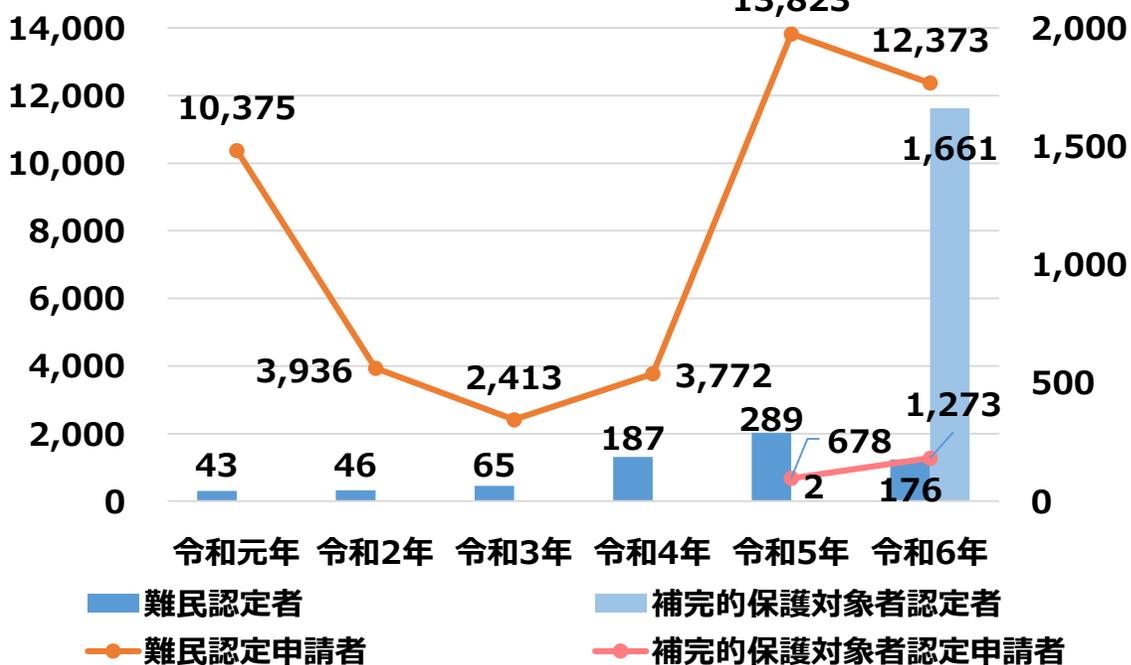
○本邦における不法残留者数について（令和7年1月1日現在）



○令和7年1月1日現在の不法残留者数：7万4,863人
→令和6年1月1日現在に比べ、**4,250人減少**

○令和6年における難民認定者数等について

難民等の申請者・認定者数の推移（一次審査）



- 難民認定申請者の主な国籍
スリランカ、タイ、トルコ、インド、パキスタン
- 補完的保護対象者認定申請者の主な国籍
ウクライナ
- 難民認定等手続の結果として、我が国での在留を認めた外国人の数
 - ・難民認定 **190人**
(うち一次審査での認定は、176人)
 - ※主な国籍：アフガニスタン、ミャンマー、イエメンなど
 - ・補完的保護対象者認定 **1,661人**
※主な国籍：ウクライナ
 - ・人道配慮 **335人**
(うち一次審査での許可は、320人)